(No.07J0118)

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1．事故・ヒヤリハットの別	事故
2．体験した事例の名称	大型水槽車から防火水槽へ給水作業中、停水操作を誤ったためホースを保持していた職員が負傷した事故。
3．体験した事例の中心的要素	防火水槽へ給水作業中に、満水となり急に水があふれ出したため急いで停水しようとした。慌てたため、ポンプスロットルを高回転側に回してしまったためホースが飛び跳ね、保持していた職員が指を負傷した。
4．体験した事例の原因・理由	機器の取扱い操作を熟知していなかった。 自分の行うべき操作をあらかじめ確認していなかった。 危険予知をしていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

1．体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。

【体験した事例について】

1．発生日時	**平成** 19 **年** 2 **月** 3 **日　　午前** 12 **時頃**
2．発生した当時の天候	晴
3．発生した活動現場	屋外：公園に設置された防火水槽
4．体験した事例の種類	
5．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	
7．事例体験時の活動	その他：　[　]
8．（7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：減水した防火水槽への給水作業
9．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[51]歳、 勤続年数[29]年、 現場経験年数[28] 年、 階級[消防司令]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [複数隊の隊長]
○当事者Ｂ	年齢[41]歳、 勤続年数[19]年、 現場経験年数[11]年、 階級[消防司令補]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [車長]
○当事者Ｃ	年齢[31]歳、 勤続年数[10]年、 現場経験年数[9]年、 階級[消防副士長]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [ ]
その他 (当事者が４人以上の場合)	年齢26歳　勤続５年　現場経験４年　階級消防士　１年に数度　機関員

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１	Ｂ，Ｄ	65mm ホース各１本で２線延長、先にスタンドパイプを結合各１人で両手で押さえていた。。	
経過２	Ａ	放水はじめを指示	
経過３	Ｃ	放水口を２口解放し、０．３Ｍｐａ	
経過４	Ａ	ほぼ満水のため、ポンプスロットルのアイドリング状態を指示	
経過５	Ｃ	ポンプスロットルを低回転とし、アイドリング状態とする。	
経過６	Ａ	満水のため放水止めを指示	
経過７	Ｃ	停水後、マンホールから水が溢れ出す。	
経過８	Ｃ	慌ててしまい、ポンプスロットルを高回転方向に上げてしまう。	
経過９	Ｄ	スタンドパイプが飛び跳ねる。	
経過 10	Ｂ	押さえていた手が、スタンドパイプとマンホール縁に挟まれる。	

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。資機材の不機能が適切だった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

ｃ．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

ｄ．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

ｅ．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

ｇ．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

ｈ．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

ｌ．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

○注意力欠如、焦り等の対策について

「防火水槽への給水は、水槽内で水が対流するために満水後にマンホールから水が漏れ出ることがあり得る。」ことの予知。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

一刻を争う業務ではないので、時間的に余裕を持たせ遂行する。

○指揮・情報伝達の対策について